
Antarctic & Arctic Seminar Schedule

南極 & 北極の魅力 講演会のご案内

October 2015 ~ August 2016

地球上で最も原生的自然環境が残された南極と北極。

文明社会と対極的關係にある極地極観光は、極限環境の中で生きる野生動物たちの姿や華麗なオーロラに魅せられ、私たちが住む地球の多様性の素晴らしさを発見する機会となるでしょう。

この講演会シリーズは、南極・北極地域の地球的・国際的価値、環境の保護・保全に関する国際的な取り決め、極地に特有な地形の形成過程、海と陸の生態系、地球温暖化の影響などについて分かりやすく解説します。

講演会から得られる様々な情報は、南極・北極観光ツアーで訪れてみたい場所や時期の選択に役立つとともに、南極・北極の地球的・国際的価値への理解が深まることによって、現地を訪れた際により大きな感動を呼び起こしてくれるでしょう。



南極 & 北極の魅力 講演会のご案内

■開催日：下記の日程で開催 ■参加費用：お一人様 500円（講演会当日、受付で徴収させていただきます）

■受付開始時刻：12時30分（各回共通） ■開演時間：13時00分～15時10分（各回共通）

■会場：(株)日本印刷会館 東京都中央区新富1-16-8 ☎03-3551-5011

回数	テーマ	開催日	講演タイトル	講師
第1回	南極大陸の魅力	平成27年 10月3日(土)	南極にかける夢	福西 浩 (東北大学名誉教授)
			驚異の雪と氷の世界	藤井 理行 (前国立極地研究所所長)
第2回	南極と北極で 何が違うのか	平成27年 12月12日(土)	極地から地球が見える	中山 由美 (朝日新聞記者)
			海、大地、空、 生き物の視点から	山岸 久雄 (国立極地研究所名誉教授)
第3回	北極の環境変動と 北極航路	平成28年 2月6日(土)	最近の激しい北極温暖化と その影響	山内 恭 (国立極地研究所特任教授)
			探検から地球環境研究の フロンティアへ	宮岡 宏 (国立極地研究所教授)
第4回	極地の生態系の ふしぎ	平成28年 4月2日(土)	南極の生態系と環境保護	渡辺 研太郎 (国立極地研究所教授)
			南極の生態系を測る	内藤 靖彦 (国立極地研究所名誉教授)
第5回	南極と北極の オーロラ	平成28年 6月4日(土)	オーロラから宇宙環境を知る	福西 浩 (東北大学名誉教授)
			南極と北極のオーロラ 比較から解くオーロラの謎	佐藤 夏雄 (国立極地研究所特任教授)
第6回	日本南極地域 観測隊の挑戦	平成28年 8月6日(土)	南極で活動するための 様々な設営技術	石沢 賢二 (国立極地研究所技術スタッフ)
			南極隕石が教えてくれること	小島 秀康 (国立極地研究所教授)

会場案内図



交通手段

- 東京メトロ有楽町線「新富町駅」
5番出口から徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」
A3出口から徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線「築地駅」
4番出口から徒歩5分
- JR京葉線、「八丁堀駅」
A3出口から徒歩5分

講演会の参加申込方法は
裏面をご覧ください。

※当イベントで撮影した写真や映像は(公財)日本極地研究振興会及び(株)クルーズライフのホームページに掲載することがあります。

※講演会終了後、アンケートのご記入をお願い致します。

このアンケートは(公財)日本極地研究振興会及び(株)クルーズライフの今後の参考資料として使用させていただきます。予めご了承ください。

※ゴミの持ち帰りにご協力をお願いいたします。

講演会 講師の ご紹介

Introduction
of
the
seminar
lecturer

※順不同・敬称略



福西 浩

公益財団法人日本極地研究振興会常務理事、東北大学名誉教授。専門は宇宙空間物理学で、主に地球や惑星のオーロラ現象を研究している。南極観測隊に4回参加し、夏隊長や越冬隊長を務める。2007年から4年間、日本学術振興会北京センター長として日中學術交流の発展に尽す。



藤井 理行

前国立極地研究所所長、同研究所名誉教授。専門は雪氷学、地球環境学。富士山、ヒマラヤ、北極などで氷河・永久凍土の調査/研究を行う。南極観測隊には4回参加し、越冬隊長を二度務め、ドームふじ深層コア掘削計画などを主導。趣味は日曜大工と山歩き。



中山 由美

朝日新聞記者。南極は第45次越冬隊でマイナス60度の大陸内陸・ドームふじ基地へ、第51次夏隊ではセールロンダーネ山地の氷上で1カ月半暮らし隕石探査を取材した。北極はグリーンランドを4回取材。極地の魅力を新聞、テレビ、講演で発信し続ける”極道の女”。登山、山スキー、合気道、潜水などアウトドア好きで体力派。



山岸 久雄

国立極地研究所名誉教授。電波によるオーロラ観測を専門とし、南極観測隊に6回参加し、越冬隊長、観測隊長を務める。南極ロケットや南極周回気球観測で主導的な役割を担う。北極圏では、カナダ北極圏での登山に始まり、グリーンランド、ノルウェー、アイスランドでの観測に従事。



山内 恭

国立極地研究所特任教授。気象学を専門とし、南極・北極の大気や気候の研究を行っており、現在はオールジャパンの北極気候変動研究(GRENE)を推進中。南極観測隊には5回参加し、越冬隊長を務める。アメリカの南極点基地にも滞在する。北極観測には1990年代より関わり、ドイツと共同の航空機による大気観測を実施。



宮岡 宏

国立極地研究所教授、国際北極環境研究センター副センター長。専門は超高層大気物理学で、北極に設置した世界最大級の観測レーダーを使ってオーロラや上層大気の研究を行っている。ノルウェー、スウェーデン、グリーンランドでの北極観測のほか、南極観測隊に計4回参加し、越冬隊長や観測隊長を務める。



渡辺 研太郎

国立極地研究所教授、国際企画室長。南極環境保護法への対応や海外との研究協力協定の締結を担当している。専門は海洋生物学。南極観測隊に計7回参加し、越冬隊長を二度、観測隊長を一度務める。また中国隊に参加し長城基地に滞在、オーストラリア隊に参加し南極観測船オーロラ・オーストラリスで海洋観測航海を行う。



内藤 靖彦

国立極地研究所名誉教授、南極観測隊に4回参加(越冬3回、夏隊1回)、越冬隊長を二度務めた。その他、英国、オーストラリア隊にオペレーターで参加。専門は海洋生態学(ペンギン、アザラシの行動の計測)で、バイオリビングサイエンスの分野の世界的パイオニア。



佐藤 夏雄

国立極地研究所名誉教授・特任教授、総合研究大学院大学名誉教授。新潟県上越市出身。南極クルーズ講師。専門はオーロラ物理学で、南極観測隊に4回参加し、夏隊長、越冬隊長を務める。北極圏では、アイスランド、スバルバル、ノルウェー、グリーンランドなどでの研究観測の経験も豊富。



石沢 賢二

国立極地研究所極地工学研究グループ技術スタッフ。長年にわたり輸送、建築、発電、環境保全などの南極設営業務に携わる。南極観測隊に7回参加(越冬5回、夏隊2回)、越冬隊長を務める。また米国のマクマード基地・南極点基地、豪州のケーシー基地・マッコリー基地等で調査活動を行う。



小島 秀康

国立極地研究所教授、地圏研究グループ長。長野市出身。専門は隕石学で、南極観測隊に5回参加(越冬3回、夏隊2回)、越冬隊長を務める。約8000個の隕石を発見する。それらの隕石の分類と分析から南極隕石データベースの構築を進めている。極地研が所蔵する1万7千個の隕石をすべて見ていることから、世界で最も隕石を見てきた一人と称されている。

「南極&北極の魅力」講演会お申込み方法

- 参加費用：お一人様 500円（講演会当日、受付で徴収させていただきます）
- 申込受付開始：講演会開催日の2か月前より（但し、第1回目はその限りではありません）
- 定員：先着100名様
- 申込方法：ホームページ、またはFAX、往復はがきにて（下記をご参照ください）
- 申込締切：満席になり次第、締め切りとさせていただきます。その際には、ご了承ください。

南極&北極の魅力 講演会に参加ご希望の場合、以下の方法でお申込みください。

ホームページから お申込みの場合

（公財）日本極地研究振興会のホームページ <http://kyokuchi.or.jp/>
にアクセスしていただき、フォームに必要事項をご記入ください。

FAXで お申込みの場合


氏名（フリガナ）、住所、電話番号、FAX番号、ご希望の講演日を明記の上、下記の送信先へ
お送りください。 ※参加者が複数の場合には、全員の氏名をご記入ください。

送信先 FAX番号：042-512-5358

往復はがきで お申込みの場合

氏名（フリガナ）、住所、電話番号、ご希望の講演日を明記の上、以下の送付先へお送りく
ださい。 ※参加者が複数の場合には、全員の氏名をご記入ください。

送付先 〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-5-2 503
（公財）日本極地研究振興会
南極と北極の魅力講演会 係

主催  公益財団法人
日本極地研究振興会

〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-5-2 三多摩第一ビル503
TEL . 042-512-5357 FAX . 042-512-5358 URL: <http://kyokuchi.or.jp/>

後援  南極・北極クルーズ&旅行のスペシャリスト
株式会社 クルーズライフ

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-10-8 第3SSビル303
TEL . 03-6228-3981 (代) FAX . 03-6228-3982 URL : www.cruiselife.co.jp/